

有限会社あずま家具住建センター

カフェ併設による新しい提案型の店舗へ

事業者概要

- ・事業承継者 代表取締役 石川昭美（55歳）
- ・従業員 2名
- ・所在地 隠岐郡隠岐の島町城北町340

支援団体

- ・隠岐の島町商工会

経緯

昭和52年創業。家具、ギフト販売を主業として、地域住民に快適な住環境や生活のうるおいを提供しながら、成長を続けてきた。

近年では、ネットショッピングの台頭により、苦戦を強いられながらも、深い商品知識に基づく商品紹介や手厚いアフターフォロー等の地域密着型の経営を武器に、根強いファンを獲得している。



(店舗外観)

取組内容

地域密着の経営を続けてきたが、近年、ネットショッピングによる安価な家具等を購入するお客様が多くなってきていることに危機感を持ち始めていた。

後継者である石川社長は、家具の品質の高さ、商品知識、暖かい接客という当社の強みをお客様に感じてもらう機会があれば、家具、ギフトともに売上が伸びるといふ思いがあり、その実現のために、来店客の増加を目指した店舗内のカフェ開設を思い立った。

翌平成29年7月には、SLOBODA.CF（スロボダ）珈琲専門店をオープン。

カフェ部門は、既存のノウハウを活かし、提供するコーヒー、軽食にはギフト商品を、使用するテーブルや椅子には家具商品として取り扱っているものを利用することで、通常は時間のかかる異業種への参入を短期間で実現させ、また、お客様に商品を実際に利用いただくことで商品本来の良さを伝え、販売に繋げる狙いも持っている。

評判は上々で、近隣の住民や隠岐病院の通院者等が利用し、地元のコミュニティスペースとして定着しつつある。来店客も増加し、既存のギフト、家具部門へも良い影響を与えており、後継者の挑戦が新しい風をもたらしている。



(オープンしたカフェ外観)



(カフェ店内風景)